

熊本赤十字病院

JAPANESE RED CROSS KUMAMOTO HOSPITAL



年間6万人を超える救急患者の初期診療から 入院・集中治療まで積極的に関わる研修

臨床研修プログラムの目的と特徴

実践経験の中から得る技術と知識
教わり、そして教える研修

プログラムの最大の目的は「どのような状況においても、患者から逃げず、自分のできることを最大限に行い、かつ自分の限界を見極め、助けを呼べるようになること。」
そのために、3つのポイントを置いています。

■ER重点/年間6万人以上の患者さんが来院する救命救急センターを持つ当院では、子どもからお年寄りまで、軽症者から重症者まで様々な患者さんが受診されます。当院の救急研修は、救急科をローテーションする期間だけでなく、1年を通じて救急外来担当を受け持ち、月5~6回は準夜帯の救急外来を指導医のもとで研修します。軽症の患者さんを多数診察し、その中から重症患者を見逃さない能力、救急車で来院されるような患者さんに対応する初期診療能力、この2つを(ERで重点的に)2年間かけて習得することで、プライマリ・ケア対応能力が格段に身に付きます。

■ハンズオン/当院の指導方法は、積極的に治療・手技を経験させる「ハンズオン」実践主義です。もちろん、指導医のサポートと事前のシミュレーション訓練はかせません。テキストを読むだけ、見学だけでは、自分の本当の知識や技術にはなり得ません。実践経験して初めて、脳裏に深く刻まれます。

■屋根瓦式指導/1年次では、2年次研修医のアシスタントとしてチームで診療に加わり、2年次では、1年次を指導しながら主治医として治療に当たります。「教えることは学ぶこと」の理念のもとに、1年次~2年次~後期研修医~指導医の3~4枚の屋根瓦指導方式で研修を行います。

アピールポイント

「目の前の患者から逃げない医師」を養成

■総合救命救急センター
24時間365日、一次から三次まで、年間6万人救急車8千台を受け入れる救命救急センターでの研修に重点を置いています。

■こども医療センター
小児救命救急センターの指定を受け、年間2万人以上を診療しています。PIUCでは県内外から重症患者を受け入れています。

■ドクターヘリ基地病院
年間700件以上の出勤。常時フライトドクターとフライトナースが待機しています。研修医は体験搭乗をすることも可能です。

■災害救援
年間6回の災害救護訓練を実施し、国内外の有事には救護班を派遣します。また、熊本県の災害拠点病院でもあるため、常時から多数傷病者を受け入れる準備をしています。

臨床研修プログラム

■初期臨床研修 週間スケジュール

2年次:診療科目/内科

曜日	月	火	水	木	金
朝		研修医講義			
午前		入退院カンファレンス、病棟管理			
午後	病棟管理	外来研修(2年次のみ)	回診、病棟管理	外来研修(2年次のみ)	病棟管理
夕方	内科講義		内科カンファレンス		

■初期臨床研修 年間スケジュール

(ER重点)初期臨床研修プログラム

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	麻酔科	救急	外科	産婦人科	小児科	内科						
場所	熊本赤十字病院(基幹型)											

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	救急	精神科	地域	選択科研修							
場所	熊本赤十字病院(基幹型)		協力的型病院、協力的施設			熊本赤十字病院(基幹型)						

(総合診療重点)初期臨床研修プログラム

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	麻酔科	救急	外科	産婦人科	小児科	内科						
場所	熊本赤十字病院(基幹型)											

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	救急	精神科	地域	選択科研修							
場所	熊本赤十字病院(基幹型)		協力的型病院、協力的施設			熊本赤十字病院(基幹型)						

[指導医からのメッセージ]

The message from an advising doctor



熊本赤十字病院
血液腫瘍内科
副部長

大戸 雅史
Masafumi Oto

「目の前の患者から逃げない医師」を目標とする当院の初期研修は、救命救急センターを中心に行われます。指導医のサポートの下、研修医は主体的に治療方法の決定や手技を経験します。指導医・後期研修医・初期研修医がチームで診療を行う屋根瓦式の指導体制が特徴で、2年次研修医は1年次研修医を指導することが求められます。また、当院では外部講師を招いた講演会やシミュレーターを用いた実技訓練など各種研修会にも力を入れています。特に災害時医療訓練は熊本地震での診療に大きく生かされました。救急診療、プライマリ・ケアを重視した当院の初期研修は、将来どのサブスペシャリティに進んでも、医師としての土台作りに役立つと思います。積極的に学ぶ姿勢を持つ研修医を待っています。

熊本赤十字病院

後期研修について

新専門医制度においては、「内科」「救急科」「総合診療科」「産婦人科」の4領域の基幹施設として専門研修プログラムを整備。
(詳細はホームページを参照)

MESSAGE 先輩研修医からのメッセージ

「誰が診てもいいなら
自分が診る」、
そんな心構えを
教えてもらえる場所。

研修2年目 光吉 ころろ
KOKORO MITSUYOSHI



私は熊本県出身で鹿児島大学へと進学。初期研修では救急をしっかりとれる場所、そして数多くの症例を経験できサポート体制も充実している環境を探し、関東へ出ることも考えていました。その中で見学に訪れたのが「熊本赤十字病院」です。指導熱心な先生ややる気溢れる同期達と楽しそうに働く先輩研修医の姿を見て、「自分が求めている研修環境はこれだ!」と当院での研修を希望しました。豊富な症例数と、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気、とにかく充実した指導環境。特に救急研修は、救急科での研修に加えて週1~2回は日中・夜勤の当番もあり、ファーストタッチから任せながら幅広い症例を経験できています。忙しい日々ですが消化不良になるほどではありません。何より、指導して下さる先生方自身が楽しみながら働いているのが伝わってきて、「医者の仕事はこんなに楽しくてやりがいがあるんだ」と将来にワクワクしながら学んでいます。2年目の今は1年目の研修医に指導する機会も多く、優秀な後輩に刺激を受けながら成長できる毎日です。救急外来で慌てていたときに、内科の上級医に言われた言葉があります。「絶対にこの専門科で、という患者さんは早く専門医に。誰が診ても良いのであれば自分が診なさい」。どんな症例でも診ることができるGeneralistだからこそ言える言葉だと、深く心に刺さりました。それ以降、「誰がやってもいいことは自分がやる」をモットーに働いています。あらゆる分野の疾患を経験できる恵まれた環境の中で、自分も先生達のようなGeneralistになれるよう頑張っています。「もっと勉強したい」「あれもこれもやってみたい」「医師としてのやりがいや喜びを感じたい」そんな気持ちを持つ研修医にとって、素晴らしい環境と先生方が揃う病院だと思います。

診療科一覧

- 内科
- 血液・腫瘍内科
- 神経内科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 小児科
- 外科
- 整形外科
- 乳腺内分泌外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 小児外科
- 形成外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- リハビリテーション科
- 放射線科・放射線治療科
- 麻酔科
- 歯科・歯科口腔外科
- 救急科
- 精神腫瘍科
- 病理診断科

研修・認定施設一覧

【各種学会等認定】

- 基本領域専門医
- 日本内科学会認定医制度教育病院
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本小児科学会小児科専門医研修支援施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本リハビリテーション医学会研修施設
- 日本脳神経外科学会専門医制度関連施設
- 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- 日本形成外科学会認定施設
- 日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本病理学会研修認定施設B
- Subspecialty 領域専門医
- 日本血液学会認定血液研修施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 呼吸器科専門医合同委員会認定呼吸器外科専門医制度関連施設
- 日本リウマチ学会教育施設
- 日本神経学会専門医制度教育施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- 日本周産期・新生児医学会認定研修施設
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本集中治療医学会専門医研修施設(集中治療科・小児集中治療室)

- 日本小児外科学会教育関連施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- 生殖医療専門医制度研修連携施設
- 日本放射線腫瘍学会認定施設
- 日本手外科学会研修施設
- 日本感染症学会専門医制度認定研修施設

【その他】

- 日本高血圧学会専門医認定医施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設B
- 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
- 日本透析医学会専門医制度認定施設
- 日本核医学会専門医教育病院
- 日本IVR学会専門医修練施設
- 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- 日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療後期研修プログラム認定施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本胆道学会認定指導施設
- 日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設
- マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定マンモグラフィ検診施設
- 日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設
- 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設

- 日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部ステントグラフト実施施設
- 日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部ステントグラフト実施施設
- 日本産科婦人科内視鏡学会認定施設
- 日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設
- 日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設
- 日本医療学会がん専門薬剤師研修施設
- 日本乳房オンコプラスティック・サージャリー学会インプラント実施施設
- 日本乳房オンコプラスティック・サージャリー学会エキスパンダー実施施設
- 日本脈管学会認定研修施設
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 生殖医療専門医制度研修連携施設
- 日本航空医療学会指定施設
- 日本癌治療学会認定がん医療ネットワークナビゲーター認定研修施設
- 日本産科婦人科学会専門医研修連携施設
- 植込型補助人工心臓実施施設
- 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
- 経皮的カテーテル心筋冷凍焼却術実施施設
- 乳房増大エキスパンダー及びインプラント実施施設
- 日本女性医学学会専門医制度認定研修施設

1日平均外来患者数 / 1,279.3人(平成28年度実績)
1日平均入院患者数 / 447.1人(平成28年度実績)
年間手術件数 / 6,212件(平成28年度)

施設概要	所在地	〒861-8520 熊本市東区長嶺南2丁目1番1号
開設者	日本赤十字社	
開設年月日	昭和19年4月(現在地移転 昭和50年4月30日)	
院長名	平田 稔彦(ひらた としひこ)	
病床数	490床(一般)	
標榜科	内科、血液・腫瘍内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺内分泌外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、歯科・歯科口腔外科、救急科、精神腫瘍科、病理診断科	
医師数	209名(初期研修医、後期研修医含む)	
指導医数	70名(指導医養成講習会受講者)	
研修医数	初期臨床研修医:32人(熊本協力型Aプログラム含む) 後期臨床研修医:22人	
専門医	内科7名、血液腫瘍内科3名、神経内科4名、呼吸器内科2名、消化器内科9名、循環器内科6名、小児科13名、外科11名、整形外科10名、乳腺内分泌外科2名、脳神経外科4名、心臓血管外科6名、小児外科2名、形成外科1名、皮膚科1名、泌尿器科3名、産婦人科6名、眼科1名、耳鼻咽喉科2名、放射線科7名、麻酔科9名、歯科0名、救急科11名、病理診断科2名	
認定医	内科11名、血液腫瘍内科4名、神経内科5名、呼吸器内科2名、消化器内科12名、循環器内科6名、外科12名、整形外科4名、乳腺内分泌外科2名、脳神経外科1名、心臓血管外科4名、小児外科1名、泌尿器科3名、産婦人科3名、放射線科1名、麻酔科5名、救急科3名	

募集要項	応募資格	①第113回医師国家試験(平成31年2月実施)を受験予定の方又は、医師免許取得者で卒業臨床研修を未実施の方 ②マッチング参加者
応募締切	未定(ホームページを確認ください)	
試験日程	未定(ホームページを確認ください)	
試験内容	書類審査、小論文、面接試験(予定)	
給料(月額)	1年次/基本給300,000円 2年次/基本給340,000円	
諸手当	賞与有、時間外手当有	
年次有給休暇	有	
職員用宿舎	職員用宿舎有(単身用・1LDK・駐車場付・病院から徒歩5分以内)	
加入する保険等	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険の適用有	
勤務時間	週38時間45分 平日午前8時30分から午後5時05分(休憩50分)	
勤務時間外勤務	有	
当直回数	準夜勤 約5~6回/月	
有給休暇	年次有給休暇/年間21日(採用年は15日)・夏季休暇(1週間連続の休暇取得が可能)・慶弔休暇等の特別有給休暇有	
健康管理	職員健康診断(年2回)、各種予防接種、メンタルヘルスカウンセリング制度	
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意	
外部研修	教育研修への参加機会(参加費用補助有)(日本赤十字社本社研修、日赤医学会等)	
その他	職員食堂、院内職員用大浴場、仮眠室、ランドリー完備、医局内研修医室有、白衣(KC)・救急当直用スクラブ・PHSの貸与制度、互助会・院友会、院内職員用トレーニングルーム・音楽室・リラクゼーションルーム、テニスコート・グラウンド、各種クラブ・サークル活動有	

応募連絡先	所在地	〒861-8520 熊本市東区長嶺南2丁目1番1号
担当部署	熊本赤十字病院/人事課	
T E L	096-384-2157(人事課直通)	
F A X	096-384-3939	
E - m a i l	zinz@kumamoto-med.jrc.or.jp	
U R L	http://www.kumamoto-med.jrc.or.jp	

ACCESS



阿蘇くまもと空港から
県道103号(国体道路)から、熊本市街地方面へ。10kmほど進んだ右側。

熊本インターチェンジから
九州自動車道「熊本インターチェンジ」より、国道57号線(東バイパス)を宇土方面へ。保田窪北交差点を左折、県道103号線(国体道路)へ入り、1.5km先の左側。

JR熊本駅から
県道22号線(産業道路)を大津・阿蘇方面へ。県道103号線(国体道路)へ入り、1.5km先の左側。